

幼 兒 の 教 育

昭 和 八 年 十 月

健 康

伸びゆくものを育て、何より第一の楽しみは伸ばすことだ。充ち張るものを養つて、一番の愉快は充ち張らすことだ。ほかのことはまあゆつくりでもいゝ。健康は一日を忽せに出来ない。

教育。その名が時々抽象すぎる。先づ身體だ。皮膚、筋肉、骨。目、耳、鼻、喉、齒。そして胃、腸、肺、心臓、何、何。それが強くての上の心の教育だ。——保姆は醫者でないなんていふのは誰れだ。ここに醫者でない母がるか。我が子の健康に苦心しない母がどこにゐるか。お話をして、歌をうたつて、繪をかいて、色紙細工をして、それだけで幼児の健康に苦心しない幼児教育者が、どこにあるか。

晴れた秋だ。戸外のいゝ秋だ。健康だ。健康だ。健康だ。

(倉橋惣三)